

OS と Starter Pack の対応 (Express5800/R120i-1M/2M 向け)

注記: 本書の適用範囲は以下のモデルの製品です。

他のモデルは適用対象外です。

○ R120i-1M/-2M ✕ 他のモデル

対象モデル名	対象型番
R120i-1M	N8100-2916Y／2917Y／2918Y
R120i-2M	N8100-2919Y／2920Y／2921Y

OS と Starter Pack について

Express5800/R120i-1M/2M (以下「サーバー」)は、Starter Pack のバージョンによってサポート可能な OS が変わります。

ご使用の OS により使用可能な Starter Pack のバージョンが異なります。安定稼働のために本書および関連資料に記載する手順を参照して **使用する OS に対応した最新の Starter Pack の適用を推奨します。**

また、各種 OS のインストール前に、本書の手順と注意事項をご確認ください。

OS インストール準備および Starter Pack の適用方法

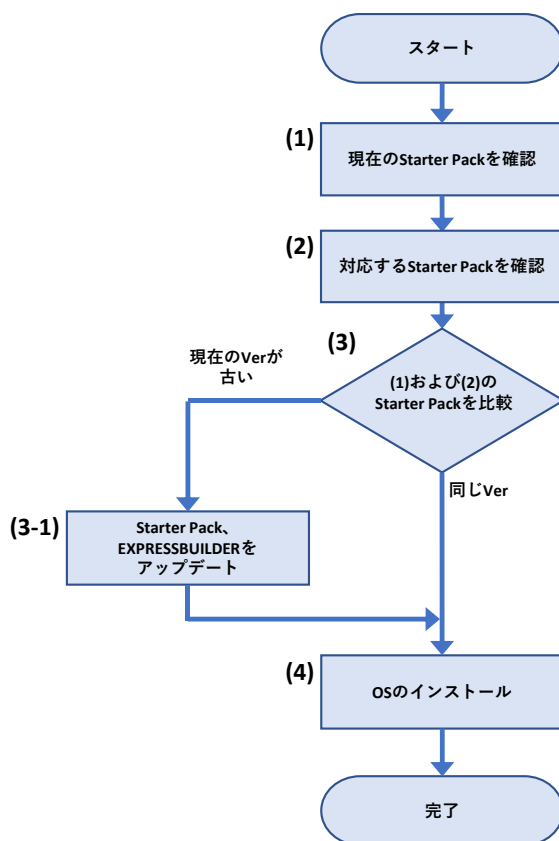
OS を新規インストールする場合や運用中システムに Starter Pack を適用する場合に、サーバーに適用されている Starter Pack のバージョンおよび OS に対応する Starter Pack のバージョンを確認する方法は以下を参照してください。

Windows Server インストール手順

Windows Server の新規インストールを行う場合、下記フローチャートの手順を参照してください。

注意事項:

- 使用する OS に対応した最新の Starter Pack の適用を推奨します。
- 事前に本ドキュメントおよび Starter Pack の最新版が発行されていないか確認してください。



(1) 「[Starter Pack のバージョン確認と適用方法](#)」を参照し、サーバーに適用されている Starter Pack のバージョンを確認してください。

(2) 「[OS と Starter Pack 対応表](#)」を参照し、インストールする OS をサポートする Starter Pack のバージョンを確認してください。

「[サーバーと Starter Pack の対応表](#)」を参照し、サーバーがサポートする Starter Pack のバージョンを確認してください。

(3) (1)および(2)の結果から、サーバーに適用されている Starter Pack がインストールする OS に対応することを確認してください。

「[Starter Pack とコンポーネントのバージョン一覧](#)」を参照して、注意事項を確認してください。

Starter Pack の更新が必要ない場合は、(4)へ進みます。

(3-1) Starter Pack および EXPRESSBUILDER を更新する場合は、「[ソフトウェアの入手先](#)」から対象の Starter Pack の Web ページの[記載内容・注意事項](#)を参照して、更新を行います。

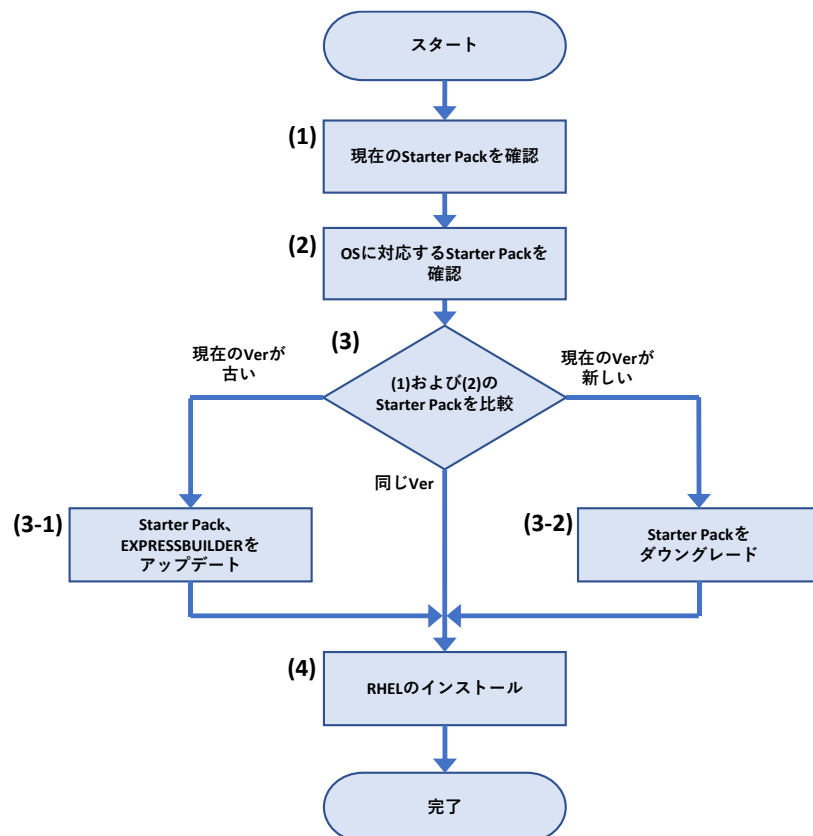
(4) 「[OS と説明書の対応表](#)」より、対応する Starter Pack ページおよびインストールガイドを参照して、Windows Server のインストールを開始してください。

RHEL インストール手順

RHEL の新規インストールを行う場合、下記フローチャートの手順を参照してください。

注意事項:

- 使用する OS に対応した最新の Starter Pack の適用を推奨します。
- Red Hat Enterprise Linux 8.4 以上を新規インストールする場合は、最初に RHEL8.3 をインストールしてから目的のバージョンへアップグレードしてください。
- サーバーの Starter Pack やファームウェアのバージョンが最初にインストールする RHEL8.3 に対応していない場合は、事前に Starter Pack の更新を実施してください。



(1) 「[Starter Pack のバージョン確認と適用方法](#)」を参照し、サーバーに適用されている Starter Pack のバージョンを確認してください。

(2) 「[OS と Starter Pack 対応表](#)」を参照し、インストールする RHEL に対応する Starter Pack のバージョンを確認してください。

「[サーバーと Starter Pack の対応表](#)」を参照し、サーバーがサポートする Starter Pack のバージョンを確認してください。

(3) (1)および(2)の結果から、サーバーに適用されている Starter Pack がインストールする RHEL に対応することを確認してください。

「[Starter Pack とコンポーネントのバージョン一覧](#)」を参照して、注意事項を確認してください。

Starter Pack の更新が必要ない場合は、(4)へ進みます。

(3-1) Starter Pack および EXPRESSBUILDER を更新する場合は、「[ソフトウェアの入手先](#)」から対象の Starter Pack の Web ページの[記載内容・注意事項](#)を参照して更新を行います。

(3-2) 現在のサーバーに適用されている Starter Pack が新しい場合、Starter Pack のダウングレードを実施してください。

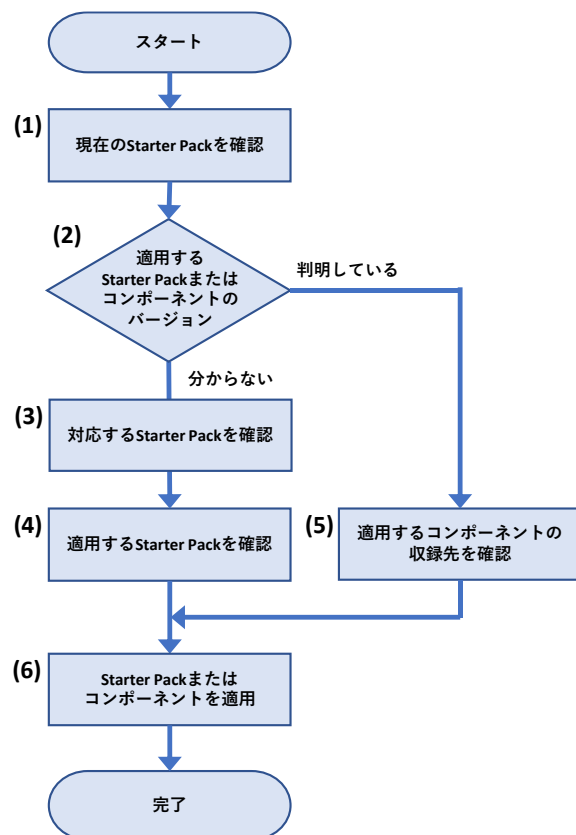
サーバーのユーザーズガイドのページから、最初にインストールする RHEL に対応したファームウェアダウングレード手順書を参照してください。

(4) 「[OS と説明書の対応表](#)」より対象のインストールガイドを参照して、RHEL のインストールを開始してください。

RHEL インストール後に OS マイナーバージョンをアップデートする場合は、NEC サポートポータルまたは Linux サービスセットを参照してください。必要に応じて速やかにドライバーの適用、Starter Pack およびファームウェアのアップデートを実行してください。

Starter Pack 更新手順

Starter Pack やファームウェアをアップデートするための手順です。



- (1) 「[Starter Pack のバージョン確認と適用方法](#)」を参照し、サーバーに適用されている Starter Pack のバージョンを確認してください。
- (2) 適用する Starter Pack またはコンポーネントのバージョンが判明している場合は(5)へ進みます。
適用する Starter Pack またはコンポーネントのバージョンが分からない場合は(3)へ進みます。
- (3) 「[OS と Starter Pack 対応表](#)」の内容を参照し、稼働している OS に対応する Starter Pack のバージョンを確認してください。
「[サーバーと Starter Pack の対応表](#)」を参照し、サーバーが対応する Starter Pack のバージョンを確認してください。
- (4) (2)および(3)の結果から、適用する Starter Pack のバージョンを確認して、(6)へ進みます。
※ 「[Starter Pack とコンポーネントのバージョン一覧](#)」を参照して、注意事項を確認してください。
※ 対応する Starter Pack のバージョンが複数ある場合は、最新バージョンの適用を推奨します。
※ 修正内容の詳細については、Starter Pack の Web ページを確認してください。
- (5) 個別にコンポーネントを適用する場合は、「[Starter Pack とコンポーネントのバージョン一覧](#)」を参照して、対象のコンポーネントが収録される Starter Pack のバージョンまたは個別リリースされていることを確認してください。
※ 「[Starter Pack とコンポーネントのバージョン一覧](#)」を参照して、注意事項を確認してください。
- (6) Starter Pack またはコンポーネントを更新してください。「[ソフトウェアの入手先](#)」を参照して、適用する Starter Pack またはコンポーネントの Web ページを開きます。
Web ページの[記載内容・注意事項](#)を参照して、Starter Pack またはコンポーネントを適用してください。

OS と説明書の対応表

注意事項:

- Red Hat Enterprise Linux を新規インストールする場合は、最初に RHEL8.3 をインストールしてから目的のバージョンへアップデートしてください。

対象 OS		説明書			
		本書	インストールガイド (Windows Server 20xx 編)	インストールガイド (Linux 編 RHEL8.3 版)	サーバー本体製品の ファームウェア ダウングレード手順書
Windows Server	2016	✓	✓ ※4		✓
	2019	✓	✓ ※4		✓
	2022	✓	✓ ※4		✓
	2025	✓	✓ ※4		✓
Red Hat Enterprise Linux	8.3 ※2	✓		✓	✓ 8.3 編
	8.4 ※3	✓		✓	✓ 8.3 編
	8.5 ※3	✓		✓	✓ 8.3 編
	8.6 ※3	✓		✓	✓ 8.3 編
	8.7 ※3	✓		✓	✓ 8.3 編
	8.8 ※3	✓		✓	✓ 8.3 編
	8.9 ※3	✓		✓	✓ 8.3 編
	8.10 ※3	✓		✓	✓ 8.3 編
VMware ESXi/ESX ※1※5	7.0 update 2	✓			✓
	7.0 update 3c	✓			✓
	7.0 update 3m	✓			✓
	8.0	✓			✓
	8.0 update 1	✓			✓
	8.0 update 2	✓			✓
	8.0 update 3	✓			✓
	9.0	✓			✓

- ※1 OS インストールに際し、別途にドライバーの適用が必要になる場合があります。
<https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=3140105866> を参照してください。
- ※2 サーバーのファームウェアが RHEL8.3 に対応する Starter Pack より新しい場合、最初にサーバーおよびオプション製品に Starter Pack S8.10-010.02 を用いてファームウェアのダウングレードを実施してください。適用方法は「ファームウェアダウングレード手順書 (Red Hat Enterprise Linux 8.3 編)」を参照してください。
 その後に RHEL8.3 をインストールしてください。適用方法は「インストールガイド(Linux 編 RHEL8.3 版)」を参照してください。
- ※3 RHEL8.4～8.10 を利用する場合、最初に※2 の手順を実施してください。その後に利用する RHEL へのアップデートを実施してください。
 RHEL のアップデート後に、アップデートした RHEL に対応する最新の Starter Pack を再度適用する必要があります。
- ※4 Express5800/R120i-1M/2M ユーザーズガイドのページに掲載の「インストールガイド(Windows 編)」は、Starter Pack S8.10-009.01 に準じたインストール手順です。Starter Pack S8.10-010.01 以降を使用する場合は、使用するバージョンの Starter Pack ダウンロードページに掲載している「インストールガイド(Windows Server 20xx 編)」を参照してください。
- ※5 「TPM Visibility」(*A)を「Visible」に設定する場合は、OS インストール時に生成される Recovery Key を保管するようにしてください。
 Recovery Key は、「TPM 2.0 Operation : Clear」(*B)設定による TPM 内部情報のクリアや、保守対応時に必要となります。
 (*A) BIOS/Platform Configuration (RBSU) > Server Security > Trusted Platform Module Options> Advanced Trusted Platform Module Options > TPM Visibility
 (*B) BIOS/Platform Configuration (RBSU) > Server Security > Trusted Platform Module Options > TPM 2.0 Operation

Recovery Key の詳細については、以下の Broadcom 社のドキュメント(セキュアな ESXi 構成の管理 - セキュアな ESXi 構成のリカバリ)をご確認ください。

- ESXi 7.0: <https://techdocs.broadcom.com/jp/ja/vmware-cis/vsphere/vsphere/7-0/vsphere-security-7-0/securing-esxi-hosts/securing-the-esxi-configuration/managing-a-secure-esxi-configuration.html>

- ESXi 8.0: <https://techdocs.broadcom.com/jp/ja/vmware-cis/vsphere/vsphere/8-0/vsphere-security-8-0/securing-esxi-hosts/securing-the-esxi-configuration/managing-a-secure-esxi-configuration.html>

hosts/securing-the-esxi-configuration/managing-a-secure-esxi-configuration.html

- ESX 9.0: <https://techdocs.broadcom.com/jp/ja/vmware-cis/vsphere/vsphere/9-0/vsphere-security/securing-esxi-hosts/securing-the-esxi-configuration/managing-a-secure-esxi-configuration.html>

説明書は下記より入手してください。

- インストレーションガイド(Linux 編 RHEL8.3 版)
- ファームウェアダウングレード手順書
ダウンロード先: <https://www.support.nec.co.jp/>
(「製品から探す: ハードウェア」→「型番・モデル名から探す」→対象の製品・モデル名を検索→「製品マニュアル」→「ユーザーズガイド」)
- インストレーションガイド(Windows Server 20xx 編)
- Starter Pack のアップデート手順
ダウンロード先: <https://www.support.nec.co.jp/>
(「製品から探す: ハードウェア」→「型番・モデル名から探す」→対象の製品・モデル名を検索→「修正情報・ダウンロード」→使用するバージョンの Starter Pack を選択)

サーバーと Starter Pack の対応表

サーバー		Starter Pack バージョン												
		S8-10-010.12 (2026/03/24 公開)	S8-10-010.11 (2025/03/24 公開)	S8-10-010.10 (2024/08/26 公開)	S8-10-010.09 (2024/03/01 公開)	S8-10-010.08 (2023/09/11 公開)	S8-10-010.07 (2023/03/30 公開)	S8-10-010.06 (2023/02/08 公開)	S8-10-010.05 (2022/12/12 公開)	S8-10-010.04 (2022/09/26 公開)	S8-10-010.03 (2022/05/30 公開)	S8-10-010.02 (2022/04/26 公開)	S8-10-010.01 (2021/12/13 公開)	S8-10-009.01 (2021/07/12 公開)
R120i-1M/2M	N8100-2916Y／ 2917Y／2918Y／ 2919Y／2920Y／ 2921Y	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓

OS と Starter Pack 対応表

サーバーに適用されている Starter Pack のバージョンによって、サポート可能な OS が変わります。

対象 OS を新規インストールする場合は、下記の表を参照のうえ、OS をインストールする前に対応した Starter Pack を適用してください。

対象 OS にアップグレードする場合は、下記の表を参照のうえ、OS をアップグレードした後に、速やかに対応する Starter Pack を適用してください。

注意事項:

- Red Hat Enterprise Linux を新規インストールする場合は、最初に RHEL8.3 をインストールしてから目的のバージョンへアップデートしてください。
- VMware ESXi/ESX をアップグレードする場合は、VMware ESXi/ESX および Starter Pack のバージョンアップの過程で、一時的に非互換の状態をご利用いただくことは可能です。非互換の状態のまま運用や仮想マシンを起動することはサポートしません。非互換の状態でご問題があった際は、適切な組み合わせとなるよう VMware ESXi/ESX または Starter Pack をアップデートしてください。

		Starter Pack バージョン												
対応 OS		S8-10-010-12 (2026/03/24 公開)	S8-10-010-11 (2025/03/24 公開)	S8-10-010-10 (2024/08/26 公開)	S8-10-010-09 (2024/03/01 公開)	S8-10-010-08 (2023/09/11 公開)	S8-10-010-07 (2023/03/30 公開)	S8-10-010-06 (2023/02/08 公開)	S8-10-010-05 (2022/12/12 公開)	S8-10-010-04 (2022/09/26 公開)	S8-10-010-03 (2022/05/30 公開)	S8-10-010-02 (2022/04/26 公開)	S8-10-010-01 (2021/12/13 公開)	S8-10-009-01 (2021/07/12 公開)
Windows Server	2016	✓	✓	✓	✓※4	✓※4	✓※4	✓※4	✓※4	✓※4	✓※4	✓	✓	✓
	2019	✓	✓	✓	✓※4	✓※4	✓※4	✓※4	✓※4	✓※4	✓※4	✓	✓	✓
	2022		✓	✓	✓※4	✓※4	✓※4	✓※4	✓※4	✓※4	✓※4	✓	✓	✓
	2025												✓	✓
Red Hat Enterprise Linux	8.3	✓※2	✓※2	✓※2										
	8.4		✓※3	✓※3	✓※3 ※4	✓※3 ※4								
	8.5				✓※3 ※4	✓※3 ※4	✓※3 ※4	✓※3 ※4	✓※3 ※4					
	8.6						✓※3 ※4	✓※3 ※4	✓※3 ※4	✓※3				
	8.7											✓※3	✓※3	
	8.8												✓※3	
	8.9												✓※3	✓※3
	8.10													✓※3
VMware ESXi/ESX ※1※6	7.0 update 2	✓	✓	✓	✓※4	✓※4								
	7.0 update 3c		✓ ※5	✓ ※5	✓※4 ※5	✓※4 ※5	✓※5	✓※5	✓※5					
	7.0 update 3m						✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
	8.0						✓	✓	✓	✓				
	8.0 update 1											✓		
	8.0 update 2												✓	✓
	8.0 update 3												✓	✓
	9.0													✓

公開日は、各 Starter Pack バージョンの最新版を Web ページ上に公開した日付です。

- ※1 OS インストールに際し、別途にドライバーの適用が必要になる場合があります。
<https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=3140105866> を参照してください。
- ※2 サーバーのファームウェアが RHEL8.3 に対応する Starter Pack より新しい場合、最初にサーバーおよびオプション製品に Starter Pack S8.10-010.02 を用いてファームウェアのダウングレードを実施してください。適用方法は「ファームウェアダウングレード手順書 (Red Hat Enterprise Linux 8.3 編)」を参照してください。
 その後に RHEL8.3 をインストールしてください。適用方法は「インストールガイド(Linux 編 RHEL8.3 版)」を参照してください。
- ※3 RHEL8.4～8.10 を利用する場合、最初に※2 の手順を実施してください。その後に、利用する RHEL へのアップデートを実施してください。RHEL のアップデート後に、アップデートした RHEL に対応する最新の Starter Pack を再度適用する必要があります。
- ※4 RAID コントローラのファームウェアは Starter Pack 収録と異なるバージョンに変更が必要な場合があります。補足事項の内容を参照してファームウェアを適用してください。
- ※5 ESXi 7.0 update 3c (Build 19193900)をインストールまたはアップデートする場合、NEC Web ページの NEC Custom Image: ESXi 7.0 update 3c (Build 19193900)を使用してください。

ダウンロード先: https://jpn.nec.com/soft/vmware/vs7/customimage_en_703.html

- ※6 「TPM Visibility」(*A)を「Visible」に設定する場合は、OS インストール時に生成される Recovery Key を保管するようにしてください。
Recovery Key は、「TPM 2.0 Operation : Clear」(*B)設定による TPM 内部情報のクリアや、保守対応時に必要となります。
(*A) BIOS/Platform Configuration (RBSU) > Server Security > Trusted Platform Module Options > Advanced Trusted Platform Module Options > TPM Visibility
(*B) BIOS/Platform Configuration (RBSU) > Server Security > Trusted Platform Module Options > TPM 2.0 Operation

Recovery Key の詳細については、以下の Broadcom 社のドキュメント(セキュアな ESXi 構成の管理 - セキュアな ESXi 構成のリカバリ)をご確認ください。

- ESXi 7.0: <https://techdocs.broadcom.com/jp/ja/vmware-cis/vsphere/vsphere/7-0/vsphere-security-7-0/securing-esxi-hosts/securing-the-esxi-configuration/managing-a-secure-esxi-configuration.html>
- ESXi 8.0: <https://techdocs.broadcom.com/jp/ja/vmware-cis/vsphere/vsphere/8-0/vsphere-security-8-0/securing-esxi-hosts/securing-the-esxi-configuration/managing-a-secure-esxi-configuration.html>
- ESX 9.0: <https://techdocs.broadcom.com/jp/ja/vmware-cis/vsphere/vsphere/9-0/vsphere-security/securing-esxi-hosts/securing-the-esxi-configuration/managing-a-secure-esxi-configuration.html>

補足事項

- サーバーおよび Starter Pack 製品は、工場出荷時点の最新バージョンの Starter Pack や EXPRESSBUILDER、SPS ファームウェアが適用された状態で出荷されます。過去のバージョンの Starter Pack および EXPRESSBUILDER が必要な場合は、NEC Web ページよりダウンロードしてください。サーバーの保証期間内および保守契約期間であれば無償でダウンロードできます。
ダウンロード先: <https://www.support.nec.co.jp/> (「製品から探す: ハードウェア」 → 「型番・モデル名から探す」を選択)
- Starter Pack の更新に伴い、本資料も随時に更新されます。安定稼働のため、本書および関連資料に記載する手順に従い、使用する OS に対応した最新の Starter Pack を適用してください。
- RAID/SAS コントローラの一部は、ファームウェアのバージョンが 6.52 以外の場合または 03.01.41.032 未満の場合は変更が必要です。

下表を参考にファームウェアを適用してください。

RAID/SAS コントローラ	変更が必要なバージョン	変更後バージョン
N8103-189/190/191/192/193/194/195/201/197	6.52 以外	6.52 ※1※2
N8103-237/238	03.01.41.032 未満	03.01.41.032 ※3

※1 Starter Pack S8.10-010.10 を使用してファームウェアを適用してください。

※2 VMware ESXi/ESX の場合、バージョン 3.00 以前からアップデートした場合は通報方式が変更となります。詳しくは <https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=3140108419> を参照してください。

※3 Starter Pack S8.10-010.12 を使用してファームウェアを適用してください。

- RAID コントローラファームウェアアップデート手順
1. Starter Pack のダウンロードページに記載されている「Starter Pack DVD からのファームウェアアップデート手順」に従い手順を進めます。
 2. 「Starter Pack DVD からのファームウェアアップデート手順」の(11)「手順2 レビュー」まで進めたら、右図を参考に RAID コントローラのファームウェアのみ適用する設定に変更して「展開」をクリックします。
 3. アップデート完了後に「Reboot」を選択してシステムを再起動してください。

RAID コントローラファームウェア

☒ 選択済み または ☒ 強制

RAID コントローラ以外のファームウェア

☐ 選択 または ☐ 強制

Starter Pack のバージョン確認と適用方法

サーバーに適用されている Starter Pack バージョンの確認方法

EXPRESSBUILDER および iLO5 ファームウェアのバージョンから、サーバー出荷時に適用された Starter Pack のバージョンを確認できます。

EXPRESSBUILDER ファームウェアバージョン	iLO5 ファームウェア バージョン	対応する Starter Pack のバージョン
3.64.2(E8.10-009.01)	2.44	S8.10-009.01
3.70.46(E8.10-010.01)	2.55 Nov 22 2021※	S8.10-010.01
	2.60	S8.10-010.02
3.76.2(E8.10-010.03)	2.65	S8.10-010.03
		S8.10-010.04
		S8.10-010.05
3.81.2(E8.10-010.05)	2.72	S8.10-010.06
		S8.10-010.07
3.86.5 (E8.10-010.06)	2.90	S8.10-010.08
3.88.6 (E8.10-010.07)	3.00	S8.10-010.09
	3.04	S8.10-010.10
3.90.7 (E8.10-010.08)	3.10	S8.10-010.11
		S8.10-010.12

※WEB 公開のみ

補足事項

- System ROM、iLO5 ファームウェアを個別にアップデートした場合や、OS インストールのために Starter Pack をダウングレード適用した場合は、EXPRESSBUILDER、System ROM、iLO5 ファームウェア、iLO5 日本語言語パック、Innovation Engine (IE) ファームウェア、Server Platform Services (SPS)ファームウェア、Power Management Controller ファームウェア、HDD/SSD 製品のファームウェア、RAID コントローラ製品のファームウェアのバージョンが、他のコンポーネントに対応する Starter Pack と異なるバージョンになる場合があります。
その場合は、他のコンポーネントのバージョンを基に Starter Pack のバージョンを判断してください。

EXPRESSBUILDER、iLO5 ファームウェアバージョンの確認方法

EXPRESSBUILDER、iLO5 のファームウェアバージョンを確認する方法は下記 2 通りあります。どちらか一方を実施します。

● サーバーのローカルコンソールで確認する方法

1. サーバーの電源がオンの場合は、シャットダウンして電源をオフにしてください。
2. サーバーにディスプレイとキーボードを接続してください。
3. サーバーの電源をオンにします。POST 画面が表示されたら、キーボードの<F9>キーを押してください。
4. システムユーティリティ画面が表示されますので、キーボードを操作し「System Information→Firmware Information」を選択してください。
5. システムユーティリティ画面にファームウェアバージョンが表示されます。画面表示との対応は下記のとおりです。
 - 画面の「EXPRESSBUILDER」→ EXPRESSBUILDER のファームウェアバージョン
 - 画面の「iLO Firmware」→ iLO5 のファームウェアバージョン
6. <ESC>キーまたはシステムユーティリティ画面の「Exit」を選択し、システムユーティリティを終了してください。
注)システムユーティリティの操作方法は、メンテナンスガイド(共通編)の「便利な機能」、「システムユーティリティ」を参照してください。

● iLO Web インターフェイスを利用して、リモートから確認する方法

1. iLO5 の管理用ネットワークに接続できる PC 端末を準備してください。
2. PC 端末の Web ブラウザーを起動し、iLO Web インターフェイスに接続し、ログインしてください。
3. 左メニューの「ファームウェア&OS ソフトウェア」を選択し、「ファームウェア」を選択してください。
4. iLO Web インターフェイス画面にファームウェアのバージョンが表示されます。画面表示との対応は下記のとおりです。

- 画面の「EXPRESSBUILDER」→ EXPRESSBUILDER のファームウェアバージョン
 - 画面の「iLO5 Firmware」→ iLO5 のファームウェアバージョン
5. Web ブラウザーを終了し、iLO Web インターフェイス画面を閉じます。
注) iLO Web インターフェイスの操作方法は、iLO5 ユーザーズガイドを参照してください。

Starter Pack の適用方法

「ソフトウェアの入手先」を参照して、適用する Starter Pack のサポートページに記載された手順に従って適用してください。

注意事項:

OS インストール前に実施する Starter Pack の適用がダウングレードの場合は、Starter Pack のサポートページに記載された注意事項を参照して、ファームウェアダウングレード手順書の手順に従って適用してください。

Starter Pack とコンポーネントのバージョン一覧

下記表の各コンポーネントは Starter Pack に収録または個別公開しています。
サーバーの安定動作のため、Starter Pack に対応する各コンポーネントの最新バージョンを適用することを推奨します。

Starter Pack をアップデートする場合や各コンポーネントを個別アップデートする場合は「[ソフトウェアの入手先](#)」にある URL の記載内容をご確認ください。
下表の Starter Pack に含まれるコンポーネントの組合せと異なる内容にアップデートされる場合は、「[Express5800 シリーズ/iStorage NS シリーズ【iLO5 搭載モデル】ファームウェアと関連モジュールの version 管理について\(2017 年 8 月～2023 年 5 月出荷開始製品\)](#)」の記載内容に従って、依存関係のあるコンポーネントをアップデートする必要があります。

- 注意事項**
- OS インストールに伴い Starter Pack を用いてファームウェアをダウングレードする場合は、ダウングレードを実施しないファームウェアが存在します。そのため、ダウングレード後の Starter Pack に収録されているバージョンと一致しない場合があります。その場合はファームウェアダウングレード手順書の記載を優先してください。
 - 以下の表は Starter Pack に収録されるコンポーネントの一部です。記載されていないコンポーネントのバージョンは、「[Express5800 シリーズ/iStorage NS シリーズ【iLO5 搭載モデル】ファームウェアと関連モジュールの version 管理について\(2017 年 8 月～2023 年 5 月出荷開始製品\)](#)」または Starter Pack に収録される「Standard Program Package version x.x.x.x Contents」を参照してください。

対応するコンポーネント	Starter Pack バージョン												
	S8.10-009.01 (2021/07/12 公開)	S8.10-010.01 (2021/12/13 公開)	S8.10-010.02 (2022/04/26 公開)	S8.10-010.03 (2022/05/30 公開)	S8.10-010.04 (2022/09/26 公開)	S8.10-010.05 (2022/12/12 公開)	S8.10-010.06 (2023/02/08 公開)	S8.10-010.07 (2023/03/30 公開)	S8.10-010.08 (2023/09/11 公開)	S8.10-010.09 (2024/03/01 公開)	S8.10-010.10 (2024/08/26 公開)	S8.10-010.11 (2025/03/24 公開)	S8.10-010.12 (2026/03/24 公開)
◎System ROM ※4 ※12	◎1.40	1.56 ◎1.52	1.56 ◎1.52	◎1.58	◎1.58	◎1.64	◎1.64	◎1.64	◎1.72	◎1.80	◎2.00	◎2.24 2.00	◎2.54
◎iLO5 ファームウェア ※12	◎2.44	2.55 Nov 22 2021 ※2※5	◎2.60	◎2.65	◎2.65	◎2.72	◎2.72	2.90 ※10 ◎2.72	◎2.90	◎3.00	3.10 ◎3.04	◎3.10	3.10 ※17 (◎3.17)
◎iLO5 日本語言語パック ※12	◎2.44	2.55 ※2	◎2.55	◎2.60	◎2.60	◎2.72	◎2.72	◎2.72	◎2.72	◎2.95	3.09 ◎3.04	◎3.09	3.09 ※17 (◎3.17)
◎Innovation Engine (IE)ファームウェア ※12	◎1.0.0.20	◎1.0.0.20	◎1.0.0.20	◎1.0.0.20	1.0.0.22 ◎1.0.0.20	◎1.0.0.22	◎1.0.0.22	◎1.0.0.22	◎1.0.0.22	◎1.0.0.22	◎1.0.0.22	◎1.0.0.22	◎1.0.0.22
◎Server Platform Services (SPS)ファームウ ェア ※12	◎4.4.4.053	◎4.4.4.058	◎4.4.4.058	◎4.4.4.062	◎4.4.4.062	◎4.4.4.202	◎4.4.4.202	◎4.4.4.202	◎4.4.4.300	◎4.4.4.500	◎4.4.4.603	◎4.4.4.603	◎4.4.4.802
EXPRESSBUILDER ※12	E8.10-009.01 FW Ver:3.64.2	E8.10-010.01 FW Ver:3.70.46	E8.10-010.01 FW Ver:3.70.46	E8.10-010.03 FW Ver:3.76.2	E8.10-010.03 FW Ver:3.76.2	E8.10-010.05 FW Ver:3.81.2	E8.10-010.05 FW Ver:3.81.2	E8.10-010.05 FW Ver:3.81.2	E8.10-010.06 FW Ver:3.86.5	E8.10-010.07 FW Ver:3.88.6	E8.10-010.08 FW Ver:3.90.7 E8.10-010.07 FW Ver:3.88.6	E8.10-010.08 FW Ver:3.90.7	E8.10-010.08 FW Ver:3.90.7
◎Power Management Controller ファームウェア	1.0.8 ◎1.0.7 1.0.4	◎1.0.8	◎1.0.8	◎1.0.8	◎1.0.8	◎1.0.8	◎1.0.8	◎1.0.8	◎1.0.8	◎1.0.8	◎1.1.4	◎1.1.4	◎1.1.4
◎RAID 通報サービス (Windows 用) ※15	4209 ◎3682	4209 ◎3872	4209 ◎3901	4209 ◎3908	4209 ◎3929	4209 ◎3967	4209 ◎3979	4209 ◎3979	4209 ◎4003	4209 4188 4171 4165 4103 ◎4010	4209 4188 4171 4165 4103 4072 ◎4049	4209 4188 4171 4165 ◎4118	◎4209
◎RAID 通報サービス (RHEL 用) ※15	4209 ◎3722	4209 ◎3798	4209 ◎3901	4209 ◎3901	4209 ◎3901	4209 ◎3967	4209 ◎3967	4209 ◎3967	4209 ◎4003	4209 4188 4171 4165 4096 ◎4010	4209 4188 4171 4165 4096 4072 ◎4047	4209 4188 4171 4165 ◎4118	サポート対象外
◎Agentless Management Service (Windows 用)	◎2.41.0.0	◎2.50.0.0	◎2.50.1.0	◎2.51.0.0	◎2.51.0.0	◎2.51.2.0	◎2.51.2.0	◎2.51.2.0	◎2.51.4.1	◎2.51.4.1	◎2.51.4.2	◎2.60.0.0	◎2.70.0.0
◎Agentless Management Service (RHEL 用)	◎2.4.1	◎2.5.0	◎2.5.0	◎2.6.0	◎2.6.0	◎2.7.0	◎2.7.0	◎2.7.0	◎3.3.0	◎3.3.0	◎3.5.0	◎3.7.0	サポート対象外
Agentless Management Service (VMware 用)	701.11.7.2	701.11.8.0	701.11.8.0	701.11.8.0	701.11.8.0	701.11.8.5	701.11.8.5	701.11.9.5 ※10 701.11.8.5	701.11.9.5	701.11.9.5	701.11.10.0	701.11.10.0	802.11.12.0
◎iLO Channel Interface Driver (Windows 用)	◎4.7.1.0	◎4.7.1.0	◎4.7.1.0	◎4.7.1.0	◎4.7.1.0	◎4.7.1.0	◎4.7.1.0	◎4.7.1.0	◎4.7.1.0	◎4.7.1.0	◎4.7.1.0	◎4.7.2.0 (WS2025) ◎4.7.1.0 (WS2016～2022)	◎4.7.2.0 (WS2025) ◎4.7.1.0 (WS2016～2022)
iLO Channel Interface Driver (RHEL 用)	サポートする Linux Kernel に紐込												
iLO Channel Interface Driver (VMware 用)	700.10.7.0	700.10.7.5	700.10.7.5	700.10.7.5	700.10.7.5	700.10.8.0	700.10.8.0	700.10.8.0	700.10.8.0	700.10.8.1	700.10.8.2	700.10.8.2	800.10.9.1
WBEM Provider (VMware 用) ※1	◇700.03.16.00.12 670.03.16.00.3	サポート対象外											
◎Smart Storage Administrator (SSA) (Windows,RHEL 用)	◎5.10.44.0	◎5.20.8.0	◎5.20.8.0	◎5.30.6.0	◎5.30.6.0	◎6.10.14.0	◎6.10.14.0	◎6.10.14.0	◎6.15.11.0	◎6.25.9.0	◎6.30.8.0	◎6.40.6.0	◎6.50.13.0 (Windows)
Smart Storage Administrator (SSA) (VMware 用)	5.10.45.0	◇5.10.45.0 ※3	◇5.10.45.0 ※3	◇5.10.45.0 ※3	◇5.10.45.0 ※3	6.10.21.0 (ESXi 8.0) ※6 ◇6.10.21.0	6.10.21.0 (ESXi 8.0) ※6 ◇6.10.21.0	6.10.21.0 (ESXi 8.0) ※6 ◇6.10.21.0	◇6.15.11.0 ※9	◇6.25.9.0 ※13	6.30.8.0	◇6.40.6.0 ※16	6.50.13.0 (ESX 9.0) 6.50.11.0

	(ESXi 7.0)	(ESXi 7.0)	(ESXi 7.0)	(ESXi 8.0)									
	Starter Pack バージョン												
対応するコンポーネント	S8.10-009.01 (2021/07/12 公開)	S8.10-010.01 (2021/12/13 公開)	S8.10-010.02 (2022/04/26 公開)	S8.10-010.03 (2022/05/30 公開)	S8.10-010.04 (2022/09/26 公開)	S8.10-010.05 (2022/12/12 公開)	S8.10-010.06 (2023/02/08 公開)	S8.10-010.07 (2023/03/30 公開)	S8.10-010.08 (2023/09/11 公開)	S8.10-010.09 (2024/03/01 公開)	S8.10-010.10 (2024/08/26 公開)	S8.10-010.11 (2025/03/24 公開)	S8.10-010.12 (2026/03/24 公開)
ESMPRO/ServerManager (監視サーバー用) ※8	6.52	6.56	6.58	6.59	6.59	6.61 ※7 6.60	6.61 ※7 6.60	6.61 ※7 6.60	6.63	6.66 6.65 ※11	7.23 ※14 6.66 ※14	7.24 ※14	7.31
◎ESMPRO/ServerAgent Service (Windows 用) ※15	◎2.31	◎2.33	◎2.34	◎2.35	◎2.35	◎2.36	◎2.36	◎2.36	◎2.41	◎2.5 2.52 ◎2.51		2.57 2.56 ◎2.54	◎2.6
◎ESMPRO/ServerAgent Service (RHEL 用) ※15	◎2.2.2-0	◎2.2.3-0	◎2.2.4-0	◎2.2.5-0	◎2.2.5-0	◎2.2.7-0	◎2.2.7-0	◎2.2.7-0	◎2.3.1-0	◎2.3.2-0	2.3.4-0 ◎2.3.3-0	2.3.7-0 2.3.6-1 ◎2.3.6-0	サポート対象外

- ◎二重丸： Starter Pack に同梱されるコンポーネント。
- ◇ひし形： VMware ESXi/ESX インストールメディア(NEC Custom Image(以下「NEC CI」))に同梱されるコンポーネント。
- 無印： 個別にダウンロードするコンポーネント。「[ソフトウェアの入手先](#)」または <https://www.support.nec.co.jp/> (「製品から探す」)から検索します。
- (括弧で囲まれたバージョン): 旧バージョン。括弧の付いていない最新バージョンを適用することを推奨します。

- ※1 RAID コントローラファームウェアが 4.11 以上の場合、WBEM Provider(VMware 用)はサポート対象外となります。
- ※2 iLO5 ファームウェア 2.55 Nov 22 2021、iLO5 日本語言語パック 2.55 は「[ソフトウェアの入手先](#)」からダウンロードしてください。
Starter Pack S8.10-010.01 に同梱されている iLO5 ファームウェアは使用しないでください。
- ※3 使用 OS が ESXi 7.0 update 2 の場合、Starter Pack S8.10-010.01～S8.10-010.04 を適用しても Smart Storage Administrator(VMware 用)5.10.45.0 は適用されません。
その場合は「[ソフトウェアの入手先](#)」を参照してアップデートしてください。
ESXi 7.0 update 3 の場合は対応の必要はありません。
- ※4 System ROM を適用する場合は、iLO5 ファームウェアが推奨バージョンであることを確認してください。推奨バージョンでない場合は事前に iLO5 ファームウェアを適用してください。
- ※5 このバージョンの iLO5 ファームウェアを適用する場合は「[ソフトウェアの入手先](#)」のダウンロードページにある「iLO5 ファームウェア: バージョン 2.55 へアップデートされる際の事前確認(ご案内)」を参照して、Agentless Management Service、iLO Channel Interface Driver、RAID 通報サービスが推奨バージョンであることを確認してください。推奨バージョンでない場合は事前に各コンポーネントを適用してください。
- ※6 使用 OS が ESXi 8.0 の場合、Starter Pack S8.10-010.05～S8.10-010.07 を適用しても Smart Storage Administrator(VMware 用) 6.10.21.0 は適用されません。
その場合は「[ソフトウェアの入手先](#)」を参照してアップデートしてください。
- ※7 ESXi 8.0 装置を監視する場合、ESMPRO/ServerManager (監視サーバー用) 6.61 を使用してください。
- ※8 対象の Starter Pack に対応するバージョン以降の ESMPRO/ServerManager を使用してください。
- ※9 使用 OS が ESXi 7.0 update 3 または 8.0 の場合、Starter Pack S8.10-010.08 および NEC CI に Smart Storage Administrator(VMware 用) 6.15.11.0 は同梱されません。
その場合は「[ソフトウェアの入手先](#)」を参照してアップデートしてください。
- ※10 使用 OS が ESXi で iLO5 ファームウェアが 2.90 の場合、Agentless Management Service (VMware 用) は 701.11.9.5 を使用してください。
- ※11 ESMPRO/ServerManager(監視サーバー用) 6.65 を使用する場合は、<https://jpn.nec.com/esmsm/index.html> の「パッチ/修正モジュール」にあるパッチファイルを適用してください。
- ※12 これらのコンポーネントは対象の Starter Pack に対応するバージョン以降のコンポーネントを使用する場合があります。
- ※13 使用 OS が ESXi 7.0 update 3 または 8.0 update 1 の場合、Starter Pack S8.10-010.09 および NEC CI に Smart Storage Administrator(VMware 用) 6.25.9.0 は同梱されません。
その場合は「[ソフトウェアの入手先](#)」を参照してアップデートしてください。
- ※14 ESMPRO/ServerManager(監視サーバー用) 6.66、7.23 または 7.24 を使用する場合は、<https://jpn.nec.com/esmsm/index.html> の「パッチ/修正モジュール」にあるパッチファイルを適用してください。
- ※15 ホストアクセス認証機能(NIST SP 800-193)に準拠した運用をするためには、以下の適用が必須です。
- ・Starter Pack S8.10-010.10 以降
 - ・RAID 通報サービス(Windows 用、RHEL 用) 4.00 Rev 4186 以降
 - ・ESMPRO/ServerAgentService (Windows 用) 2.57 以降 または (RHEL 用) 2.3.7-0 以降
 - ・RESTful Interface Tool および 装置情報収集ユーティリティの対象バージョン
- これらのソフトウェアを使用する場合は、対象のバージョンを「[ソフトウェアの入手先](#)」または <https://www.support.nec.co.jp/> (「製品から探す」)から入手してください。
- なお、インストール手順や設定方法などは「[Express5800 / NX7700x シリーズにおける NIST SP 800-193 のサポートについて](#)」に掲載された NIST SP 800-193 準拠 運用構築手引きを参照し、RESTful Interface Tool および装置情報収集ユーティリティも対象のバージョンを入手しインストールしてください。
- ※16 使用 OS が ESXi 7.0 update 3 または 8.0 update 2 の場合、NEC CI に Smart Storage Administrator(VMware 用) 6.40.6.0 は同梱されません。
その場合は「[ソフトウェアの入手先](#)」を参照してアップデートしてください。
- ※17 Starter Pack S8.10-010.12 に収録されている iLO5 ファームウェア 3.17、iLO5 日本語言語パック 3.17 は使用しないでください。
もしも適用した場合は、iLO5 ファームウェア 3.10、iLO5 日本語言語パック 3.09 を「[ソフトウェアの入手先](#)」から入手して更新してください。

補足

- Starter Pack とコンポーネントのバージョン一覧は、本ドキュメントの発行日時点の最新情報です。サーバーの安定動作および新機能の追加のため、新バージョンが予告なく公開、追加される場合があります。
- System ROM、Power Management Controller、iLO5 ファームウェア、iLO5 日本語言語パック、Innovation Engine ファームウェア、Server Platform Services ファームウェア、HDD/SSD 製品のファームウェアはダウングレード対象のコンポーネントではありません。ダウングレードする場合、これらのファームウェアのバージョンはダウングレード適用した Starter Pack よりも新しくなりますが問題ありません。
- ESMPRO/ServerAgentService は、iLO5 ファームウェアをサポートしているバージョンをインストールしてください。

ソフトウェアの入手先

ソフトウェア名	バージョン	入手先
Starter Pack	S8.10-009.01	https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010109722
	S8.10-010.01	https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010109983
	S8.10-010.02	https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010110194
	S8.10-010.03	https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010110243
	S8.10-010.04	https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010110412
	S8.10-010.05	https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010110528
	S8.10-010.06	https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010110610
	S8.10-010.07	https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010110671
	S8.10-010.08	https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010110880
	S8.10-010.09	https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010111079
	S8.10-010.10	https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010111363
	S8.10-010.11	https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010111678
EXPRESSBUILDER	S8.10-010.12	https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010112151
	E8.10-009.01	https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010109723
	E8.10-010.01	https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010109984
	E8.10-010.03	https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010110259
	E8.10-010.05	https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010110529
	E8.10-010.06	https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010110881
	E8.10-010.07	https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010111080
	E8.10-010.08	https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010111476
System ROM	1.40	(Starter Pack S8.10-009.01 に同梱)
	1.52	(Starter Pack S8.10-010.01/02 に同梱)
	1.56	https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010110171
	1.58	(Starter Pack S8.10-010.03/04 に同梱)
	1.64	(Starter Pack S8.10-010.05～07 に同梱)
	1.72	(Starter Pack S8.10-010.08 に同梱)
	1.80	(Starter Pack S8.10-010.09 に同梱)
	2.00	(Starter Pack S8.10-010.10 に同梱)
	2.24	(Starter Pack S8.10-010.11 に同梱)
	2.54	(Starter Pack S8.10-010.12 に同梱)
iLO5 ファームウェア	2.44	(Starter Pack S8.10-009.01 に同梱)
	2.55 Nov 22 2021	https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010110011
	2.60	(Starter Pack S8.10-010.02 に同梱)
	2.65	(Starter Pack S8.10-010.03/04 同梱)
	2.72	(Starter Pack S8.10-010.05～07 同梱)
	2.90	https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010110854 (Starter Pack S8.10-010.08 同梱)
	3.00	(Starter Pack S8.10-010.09 同梱)
	3.04	(Starter Pack S8.10-010.10 同梱)
	3.10	https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010111648 (Starter Pack S8.10-010.11 同梱)
	2.44	(Starter Pack S8.10-009.01 に同梱)
iLO5 日本語言語パック	2.55	https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010110011 (Starter Pack S8.10-010.02 に同梱)
	2.60	(Starter Pack S8.10-010.03/04 同梱)
	2.72	(Starter Pack S8.10-010.05～08 同梱)
	2.95	(Starter Pack S8.10-010.09 同梱)
	3.04	(Starter Pack S8.10-010.10 同梱)
	3.09	https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010111648 (Starter Pack S8.10-010.11 同梱)
	1.0.0.20	(Starter Pack S8.10-009.01 ~ S8.10-010.04 同梱)
Innovation Engine (IE)ファームウェア	1.0.0.22	https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010110469 (Starter Pack S8.10-010.05～11 同梱)
	4.4.4.053	(Starter Pack S8.10-009.01 に同梱)
Server Platform Services (SPS)ファームウェア	4.4.4.058	(Starter Pack S8.10-010.01/02 に同梱)
	4.4.4.062	(Starter Pack S8.10-010.03/04 に同梱)
		https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010110469
	4.4.4.202	(Starter Pack S8.10-010.05～07 に同梱)

OS と Starter Pack の対応 Express5800/R120i-1M/2M 向け

		4.4.4.300	(Starter Pack S8.10-010.08 に同梱)
		4.4.4.500	(Starter Pack S8.10-010.09 に同梱)
		4.4.4.603	(Starter Pack S8.10-010.10～11 に同梱)
		4.4.4.802	(Starter Pack S8.10-010.12 に同梱)
iLO Channel Interface Driver (VMware 用) Agentless Management Service (VMware 用)	iLO5 FW 2.44 以上専用	700.10.7.0 701.11.7.2	ESXi 7.0 https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010109875
	iLO5 FW 2.55 以上専用	700.10.7.5 701.11.8.0	ESXi 7.0 https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010110001
	iLO5 FW 2.72 以上専用	700.10.8.0 701.11.8.5	ESXi 7.0/8.0 https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010110537
	iLO5 FW 2.90 以上専用	700.10.8.0 701.11.9.5	ESXi 7.0/8.0 https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010110916
	iLO5 FW 3.00 以上専用	700.10.8.1 701.11.9.5	ESXi 7.0/8.0 https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010111089
	iLO5 FW 3.04 以上専用	700.10.8.2 701.11.10.0	ESXi 7.0/8.0 https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010111386
	iLO5 FW 3.10 以上専用	800.10.9.1 802.11.12.0	ESXi 8.0/ESX 9.0 https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010112158
WBEM Provider (VMware 用) Smart Storage Administrator (SSA) (VMware 用)	本書対象全装 置		https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=3010101744
VMware ESXi/ESX デバイスドライバー情 報一覧	本書対象全装 置		https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=3140105866

変更履歴

版数	改版日	改版内容
32	2026 年 3 月 24 日	Starter Pack S8.10-010.12公開 ESX 9.0対応 RAID通報サービス(Windows用) Rev4209、(Linux用) Rev4209公開(2025/10/27公開分)
31	2025 年 7 月 18 日	RHEL8.10対応 RAID通報サービス(Windows用) 4.00 Rev4188、(Linux用) 4.00 Rev4188公開(2025/06/26公開分) ESMPRO/ServerAgentService (Windows用) 2.57、(Linux用) 2.3.7-0公開(2025/6/26公開分)
30	2025 年 5 月 26 日	ESMPRO/ServerAgentService (Windows用) 2.56、(Linux用) 2.3.6-1公開(2025/4/28公開分) RAID通報サービス(Windows用) 3.20 Rev4165、(Linux用) 3.20 Rev4165公開(2025/4/22公開分) RAID通報サービス(Windows用) 3.20 Rev4171、(Linux用) 3.20 Rev4171公開(2025/4/28公開分)
29	2025 年 3 月 24 日	Starter Pack S8.10-010.11公開 Windows Server 2025対応 ESXi 8.0 update 3対応
28	2025 年 2 月 19 日	iLO5ファームウェア 3.10公開
27	2024 年 12 月 24 日	メディアエラー通報対応RAID通報サービス(Windows版) 3.20 Rev4103、(RHEL版) 3.20 Rev4096公開(2024/12/4公開分)
26	2024 年 11 月 25 日	RHEL8.9対応 EXPRESSBUILDER E8.10-010.08公開 RAID通報サービス、ESMPRO/ServerAgentServiceのNIST SP 800-193準拠バージョンを追記(2024/8/30公開分)
25	2024 年 8 月 26 日	Starter Pack S8.10-010.10対応
24	2024 年 6 月 7 日	RHEL8.8対応 ESMPRO/Server Manager 6.66の記載追加(2024/4/4公開)
23	2024 年 3 月 1 日	Starter Pack S8.10-010.09対応 ESXi 8.0 update 2対応 OSインストール準備およびStarter Packの適用方法を個別の記載に修正
22	2023 年 11 月 27 日	RHEL8.7対応 ESXi 7.0 update 3記載を更新
21	2023 年 9 月 26 日	ESXi 8.0 update 1対応
20	2023 年 9 月 11 日	Starter Pack S8.10-010.08対応
19	2023 年 8 月 7 日	iLO5ファームウェア 2.90対応
18	2023 年 7 月 26 日	RAIDコントローラ ファームウェア情報更新
17	2023 年 6 月 26 日	ESXi 7.0 update 3、NEC Custom Imageの変更対応 記載内容の修正
16	2023 年 3 月 30 日	Starter Pack S8.10-010.07対応
15	2023 年 3 月 9 日	ESXi 8.0対応記載
14	2023 年 2 月 8 日	Starter Pack S8.10-010.06対応
13	2023 年 1 月 26 日	RHEL8.6 対応記載 N8103-237/238 ファームウェア情報更新 Starter Pack 適用方法更新
12	2022 年 12 月 12 日	Starter Pack S8.10-010.05 対応
11	2022 年 10 月 26 日	Innovation Engine (IE) FW:1.0.0.22 ソフトウェア入手先の追加
10	2022 年 9 月 26 日	Starter Pack S8.10-010.04 対応
9	2022 年 5 月 30 日	Starter Pack S8.10-010.03 対応
8	2022 年 4 月 26 日	Starter Pack S8.10-010.02 対応
7	2022 年 3 月 31 日	ファームウェア情報更新
6	2022 年 2 月 25 日	ESXi 7.0 update 3 対応記載
5	2022 年 1 月 12 日	対象型番に N8100-2918Y 追加
4	2021 年 12 月 24 日	Windows Server 2022 対応
3	2021 年 12 月 15 日	iLO5 ファームウェア バージョン 2.55 Nov 22 2021 使用時注意追加
2	2021 年 12 月 13 日	Starter Pack S8.10-010.01 対応
1	2021 年 07 月 26 日	初版